

バドミントン界の「希望の星」が輝く!



Okuhara Nozomi
私から「ヒトコト」

■「全日本総合選手権」優勝をどう振り返りますか

高校に帰ってきてみてみんなが騒いでくれたので、「ああ、すごいことをしたんだな」と思いました。優勝したときは、実感が全然なかったんですけど。ただ、決勝戦で対決するはずだった広瀬栄理子選手が棄権をして決まった優勝なので、決勝戦で勝負をしてナンバー1になれていないという意味では残念だし悔しいです。だから、自分の実力を認めてもらうように、来年も優勝したいです!

■バドミントンを始めたきっかけは

父が高校でバドミントン部の顧問をしていた縁で、やり始めたのがきっかけです。小学生のうちは、兄弟と一緒に父の特訓を受けていました。こんな球、絶対とれないだろうって

いうのばかり打ってくるんですけど、取りに行くのを諦めると怒られるんですよ。そんな練習ばかりだったんですが、そのおかげで今の粘り強さが身に付いたのだと思います。50回も続いたラリーで点を取ったこともあるんですよ。

■普段から気を付けていることは

歩き方とか姿勢に気を付けています。私はケガが多いので、体幹を鍛えなければいけないんです。ただ、普段から姿勢を正しているのはかなりきついですよ。得意な科目の授業のときは、ヒシッとできるんですが、嫌いな科目のときは姿勢が崩れます(笑)

■埼玉県に来て感じたこと

長野にいたときから「埼玉県は都会だな」と思っていたんですけど、想像とおりでした。大宮の駅前とか、満員電車が、すごいですね。ただ、私は散歩が好きなのでよく歩くんですけれど、公園も多く埼玉は意外と自然があるなと思っていました。自然が大好きな私にとってはとてもありがたいです。それから、埼玉県に来て初めて「タピオカ」という食べ物を知りました。今のお気に入り「タピオカ」が入った紅芋ミルクティー、しょちゅう飲んでいきます(笑)

■今の一番の目標は

2016年にリオデジャネイロで開催されるオリンピックでメダルを取ることです。バドミントンは日本人がメダルを獲得したことがないんです。私がメダルを取れば、メジャーなスポーツになって、強化もされやすくなるかなと思うので。世界で通用するために、自分の粘り強さに加えて決め球を磨かなければいけないと思っています。他にも体力づくりなど、たくさん課題がありますが、トップレベルの選手達をよく観察して、世界レベルの壁を突破していきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。

バドミントン選手 奥原希望さん

おくはら のぞみ

プロフィール

長野県大町市出身。現在は埼玉県立大宮東高校2年生。小学校2年生からバドミントンを始め、バドミントンの強豪県である埼玉へ。昨年12月11日に最終日を迎えた「全日本総合選手権」で、史上最年少の16歳8ヶ月で優勝。ラリーで負けない粘り強さを武器に、オリンピックでのメダル獲得に闘志を燃やす。



埼玉プレイクの配布は、以下の鉄道会社様にご協力いただいております。

JR 西武鉄道 T.O.B.U 東武鉄道 秩父鉄道 埼玉新都市交通 SR 埼玉高速鉄道 TX つくばエクスプレス

県内へのお出かけには便利な鉄道をご利用ください。

埼玉プレイク

Vol.03

Vividly! 通巻43号

【編集発行】彩の国さいたま魅力づくり推進協議会事務局 E-mail a2840-29@pref.saitama.lg.jp 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 広聴広報課内 tel.048-830-3192 fax.048-824-7345